

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

担体流出防止スクリーン、詰まりSTOP実験開始！

ディスポーザー排水処理槽には担体流動槽を組み込んだ処理槽の設置も多く見られます。担体流動槽には担体流出防止スクリーンが設置されています。当該スクリーンは、未分解の繊維物及び担体そのものが付着し、汚水の移行を妨げることがあります。その結果、処理槽は異常水位となり警報を発することとなります。今回、当該スクリーンの閉塞解消を目指し実証実験を試みました。



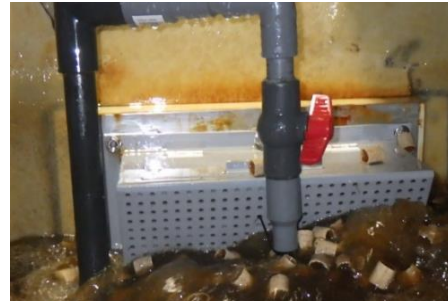
写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

※当該処理槽の担体は柔らかくなり二つに割れてきました。割れた担体はスクリーンで閉塞するか、そこを通過し分離槽及びポンプ槽に入り悪戯をするかでした。

当該処理槽は、長期間にわたる担体の流出と繊維物の閉塞を危惧し、実証実験の開始となりました。

新スクリーン設置 平成30年4月27日
経過観察1ヶ月 平成30年5月29日

写真①	実験前のスクリーン	
写真②	実験用スクリーン	
写真③	実験用スクリーン取り付け	
写真④	散気管設置	
写真⑤	実験開始、1ヶ月	
	繊維物による閉塞	少し
	破損担体の閉塞は	なし
	スイカの種の詰まり	少し
	水位の異常上昇は	なし
写真⑥	洗淨し実験続行	

考察

- 1 水流に対して90度の角度でのスクリーンでなく、写真のように斜めのスクリーンを試用しました。
- 2 その結果、繊維物や固形物などは、スクリーンに張り付けず滑り落ち、スクリーンは閉塞を免れています。

水物語No51

ポピーハッピースクエア、鴻巣は満開です！



今月は日本一広いポピー畑の紹介です。荒川の河川敷へのゴミ不法投棄防止と「はなのまちこうのす」をアピールすることを目的に、約12.5ヘクタールの敷地に約3,000万本が栽培されています。

見渡す限りどこまでも続くきらめきには圧倒されます。満開を過ぎましたが、まだまだ見ごろです。

この花畑は「日本一の川幅」を誇る荒川の御成橋下に広がっています。ここから望む富士山は絶景だそうです。

ポピーはヨーロッパ南部、アジア北東部など原産地です。ケシ科に属しますが、園芸品種からは麻薬は取れませんので安心です。花言葉は「心の平静」「いたわり」です。

株式会社クリーンテックサービス東京